

「即日板金」で日本のものづくりをリード 自動化とIoTで稼働率を極限まで高める

1969年創業の株式会社マキノは精密板金加工により、半導体製造装置関連部品、通信機器関連部品などを取扱う。主に試作品を手がけ、「即日板金」という多品種小ロット・超短納期の仕事を得意とする。IoTという言葉が一般化する以前からIT化を進め、工場の稼働状況の見える化や自動化、データ分析による効率化を実現。積極的な設備投資と相まって、24時間対応型の精密板金工場が顧客の求める「今すぐ欲しい」を可能とする。

●所在地	東京都町田市小山ヶ丘3-10
●電話/FAX	042-798-5611/042-798-5612
●URL	http://www.kk-makino.co.jp/
●代表者	代表取締役 牧野 孝一郎

●設立	1969年
●資本金	2,000万円
●従業員数	46人



高い技術力と内製化により、顧客からの「即日板金」に対応

同社は「即日板金」加工により、高品質な製品をいつでも受注したその日に出荷することが可能である。取扱い製品は、通信機器・真空機器・医療機器・分析機器の試作・量産板金・段曲げ（Z曲げ）金型加工など。精密洗浄作業を内製化していることも強みであり、真空パックにより、同社製品をそのまま、真空チャンバー内に取付できる。Z曲げ加工の金型は、通常の段曲げでは2工程加工が必要なところを1工程で加工できるなど高い技術力を持つ（日本・ドイツ・フランス・英国・米国特許取得済み）。



同社が導入した最新のレーザー加工機械

徹底的な自動化とIoTで工場の稼働率を極限まで高める

2007年に高さ12段×幅18列の世界最長・最速の自動材料倉庫を導入。材料倉庫は各ブランキングマシンと連動させ、ワークスケジュールを組んで夜間休日無人自動化を実現。さらに、IoTにより加工機械の稼働データをすべて吸い上げるシステムを導入。データ分析から徹底的な自動化を積極的に進め、工場の稼働率を極限まで高めるよう日々課題の改善を実施している。また、金属加工業者間における工程の外注化をECサイトで受発注できるプラットフォームを開発し、2020年に運営を開始する予定である。



世界最長・最速の自動材料倉庫

IT活用と成果の見える化による従業員のモチベーション向上

本営業活動では、日々2,500件近くの見積り作業があり、受注件数は1日あたり最大で2,000件。担当者が1人あたり約500件を捌くため、非常に負荷がかかっていた。そこで受注の自動処理システムを導入し、業務を効率化した。また、生産活動では、i Pod touchを活用し、加工担当者、工程、工数を把握。人と業務、製品を紐づけて管理を行い、稼働状況の最適化を図っている。この取組は、数字で従業員の成果を把握できるため、従業員のモチベーション向上にも繋がっている。



IT化により工場稼働状況などを一元管理